

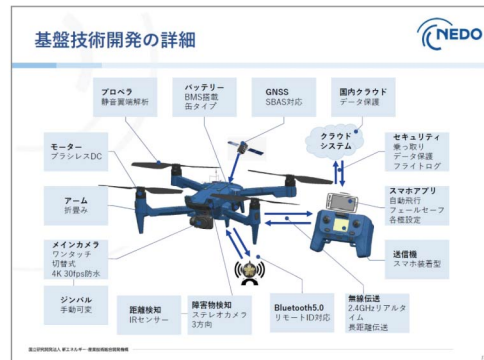
当社がカメラを開発した NEDOの「安全安心なドローン基盤技術開発」事業について、 メディアに掲載されました

“安全安心”な国産ドローンが1年弱で完成、 産業用小型市場を開拓へ

2021年04月14日
08時00分公開
[朴尚洙, MONOist]

カメラは旧三洋電機のザクティ製

静音性プロペラの設計では先端力学シミュレーション研究所の技術を活用。機体の筐体、モーター、バッテリーについては大型ドローン事業を手掛けるヤマハ発動機の量産経験やノウハウが反映されている。カメラの開発は、旧三洋電機のデジタルカメラ事業部で現在は日本アジアグループ傘下にあるザクティが担当。ACSLとNTTドコモは、ドローンの機体制御を行う中核システムとなるフライトコントローラーや、クラウドシステムへの通信などの開発をけん引したという。



基盤技術開発の詳細製品 出典：NEDO

ドローンの操作は、ゲーム機のコントローラーのようなシンプルなUIとしており、各種情報の表示などはコントローラーに装着するスマートフォンを活用する。標準カメラは、ザクティの大口径レンズと独自信号技術により1インチと比較的大きいサイズのCMOSセンサーを搭載できている。切り替え用のカメラとしては、可視光と赤外を同時撮影できるものや、田畑の植生状況の確認に用いられるNDVI（正規化植生指数）測定に対応するマルチスペクトルカメラを用意している。

ドローンの操縦機能(左)と、GCS(Ground Control Station)やクラウドシステムの概要(右) 出典：NEDO

ドローンに搭載するカメラ。標準カメラ(左)、可視光+IR(中央)、マルチスペクトル(右) 出典：NEDO

出典：MONOist
「安全安心”な国産ドローンが1年弱で完成、産業用小型市場を開拓へ”
2021年4月14日付